

平成28年度
北方領土問題
教育指導者現地研修会
事業報告

滑川市立滑川中学校
教諭 雨宮 正洋







考えよう みんなで解決

北方領土

東京都立立川国際中等教育学校

教諭 山本 葉月

本日のテーマ：

日本政府が北方領土を

「固有の領土」と主張する根拠を考えよう

鎖国



ラクスマン来航
ロシアの南下



1798年蝦夷地の大規模巡察時、
択捉島に国土標柱を建てる
(写真は明治期に建てられたもの)

日本国魯西亜国通好条約 (1855)

ТРАКТАТЪ
МЕЖДУ
РОССІЕЮ И ЯПОНИЕЮ.

Handwritten text in Cyrillic script, likely the original Russian text of the treaty.

日本とロシアの国境を初めて画定。

第2条

今より後日本国と魯西亜国との境「エトロフ」島と「ウルップ」島との間に在るへし「エトロフ」全島は日本に属し「ウルップ」全島夫より北の方「クリル」諸島は魯西亜に属す「カラフト」島に至りては日本国と魯西亜国との間に於て界を分たす是迄仕来の通たるへし

事業参加後の生徒の反応

(何か変化した?の問い)

すごく変わった!今まで、同じ日本人がどんな気持ちを抱いていたのか知らなかった。元島民の声を聴いて、もし自分だったら…と考えることができた。学んだ身として、感じたことや知ったことをたくさん広めていきたい。

情報発信者として、身近な人たちに伝えていきたい。少しでも返還の役に立ちたい。

日本人とロシア人、どちらもが楽しく仲良く、平和に解決できるといいなと思った。





北の領土を日本が返してもらえな
 ければいけないけど、北方領土に
 今、住む人、元住人のことなども
 考えて、これが5のことを考えてい
 ければいけない。ロシアが
 何故北方領土に来たのか...
 これは早急に話しかけなければいけな
 かったか、もう60年近くも立っており
 元の住人のことも考えないで、
 ロシアが日本にしたことと変わらなくなる
 ので、もうも考えとりくむべきと思う。

領土の
 ている
 や、ヒッ
 あって
 解決し
 と、実際に
 する9=5の

北の領土に
 元の日本の家
 とらけて、結
 んでいるのに
 であるのが
 解決法は
 ことだけ、
 いいと思

この授業を

北の領土の授業



1. 本時の目標

北方領土について考えを深めよう。

2. 本時の展開

| | 活動 | 質問・指示 | 資料 |
|------------|--|--|---|
| 導入 5分 | 1. 本時の課題を確認。 2. の流れ、討議をまのす。 | ① 「どんな立場がありましたか？」 ② 本時の流れを説明します。 | 旧ソ連 アメリカ 日本 元島民 |
| 展開 35分 | 3. ① ジグソー学習 (15分) 個人紙 → ディスカッション ② ①の報告、意見交換、発表 ③ 北方領土に関する自分の考えをまとめ (10分) | ②の指示 「同じ立場の人は集まり、ジグソー学習の気づき、気づきと意見を交換し、5分後に全体発表がある。発表者と決めた。」 ③の指示 「様々な意見を聞いた上で、日本で暮らす人として、北方領土について考えをまとめ用紙に記入。」 | 4つの立場の資料 「私の意見」 「わたらの北方領土」 「北方領土」 まとめ用紙 |
| まとめ 10分 | 4. 展開③の発表(数人) 教師のまとめ → 国際関係、高橋倉化、平和解決 | ④ 本時の学びを発表して下さい。 | 回収 |

4つの立場の資料

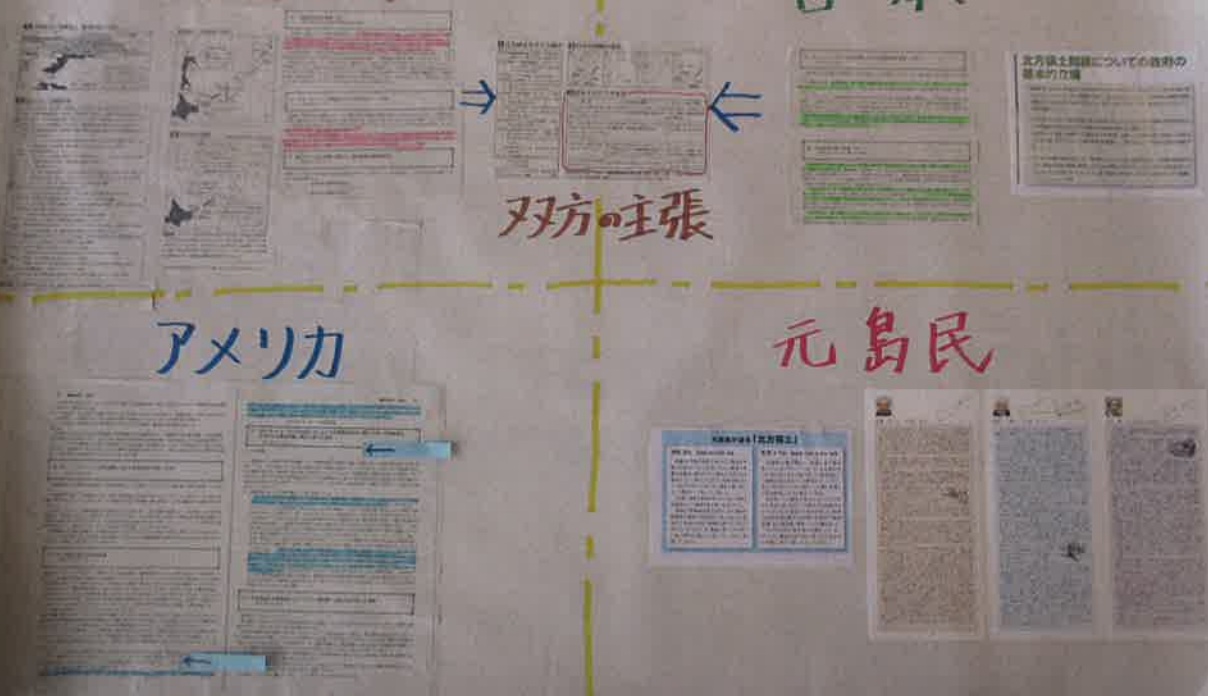
旧ソ連・ロシア

日本

双方主張

アメリカ

元島民





大正十一年三月 東京

「東宮利仁」首儀画説
 第二回 右側
 かつのり衣系の下、右腕、左
 膝、深い、左腕、(左腕の) 腕
 の外は又、左腕の腕。



大正十一年三月 東京

「東宮利仁」首儀画説
 第二回 右側
 左腕の腕、右腕の腕、左腕の腕
 腕、腕、腕、腕、腕、腕、腕、腕
 腕、腕、腕、腕、腕、腕、腕、腕



芙蓉石英製法社長 昭和5年4月-11月7日昭和19年4月-21年11月 北方領土返還運動の先駆者。

北方四島交流センター



ニ（日本）
ホ（北海道）
ロ（ロシア）

情報発信者として
身近なところから
情報を広めていきたい

北方四島交流センター



ニ (日本)

ホ (北海道)

ロ (ロシア)

十 北 陸

